

製品名: ADAMTS-16 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06597**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ADAMTS16
別名	ADAMTS16; KIAA2029; A disintegrin and metalloproteinase with thrombospondin motifs 16; ADAM-TS 16; ADAM-TS16; ADAMTS-16
遺伝子 ID	170690.0
SwissProt ID	Q8TE57
免疫原	ADAMTS-16 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 440-520

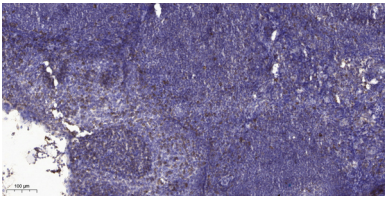
背景

この遺伝子は、ADAMTS（トロンボスポンジンモチーフを有するディスインテグリンおよびメタロプロテアーゼ）タンパク質ファミ

リーのメンバーをコードします。ADAMTS ファミリーのメンバーは、プロペプチド領域、メタロプロテアーゼドメイン、ディスインテグリン様ドメイン、およびトロンボスポンジン 1 型 (TS) モチーフなど、いくつかの異なるタンパク質モジュールを共有しています。このファミリーの各メンバーは C 末端 TS モチーフの数が異なり、一部は独自の C 末端ドメインを有しています。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって成熟タンパク質が生成され、軟骨肉腫細胞の増殖と遊走を阻害する可能性があります。この遺伝子は血圧を調節する可能性があります。[RefSeq 提供、2016 年 5 月]補因子: サブユニットあたり 1 つの亜鉛イオンを結合します。ドメイン: システインスイッチモチーフに存在する保存されたシステインが触媒亜鉛イオンと結合し、酵素を阻害します。活性化ペプチドの放出により亜鉛イオンからシステインが解離し、酵素が活性化されます。ドメイン: スペーサードメインと TSP タイプ 1 ドメインは、細胞外マトリックスとの緊密な相互作用に重要です。PTM: 前駆体は、フォーリンエンドペプチダーゼによって切断されます。類似性: ディスインテグリンドメインを 1 つ含みます。類似性: ペプチダーゼ M12B ドメインを 1 つ含みます。類似性: PLAC ドメインを 1 つ含みます。類似性: TSP タイプ 1 ドメインを 6 つ含みます。組織特異性: 胎児の肺と腎臓、および成人の前立腺と卵巣で発現します。

研究分野

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。